

変わらずに変わり続けてください。

創立三十周年おめでとうございます。

長いようで短い。短いようで長い。

初めて会ったときからそんなに月日経ったのかと思うと、
何となく不思議で信じられないような気がします。

いろんなことがありました。たくさん酒を呑みました。

CMも映画も人生も何もかもスプーンに教えてもらいました。

もしスプーンがなかったら、今のわたしはありません。

本当に本当にありがとうございました。

先日、福岡伸一という生物学者が話していました。

人間はじっと動かない固体ではなく、絶え間なく動き続ける流体なのだ。

流体とは例えて言えば山手線のようなもので、

毎日同じところをグルグル回っていて渋谷の次はいつも原宿だけど、

日によって乗客も違っているし運転手や車両だって入れ替わっている。

人間も飲んで食べてウンチして毎日同じことをしているように見えて、

実はそのたびに新しく生まれ変わっている。

ウンチはただの排泄物ではなくて、昨日までの自分の古い細胞で出来ているの
だそうです。

だから今日の自分はもう昨日の自分ではない。明日の自分は今日の自分とどこ
か異なっている。

流体とは、変わらずに変わり続けるという意味なのかもしれません。

スプーンはこれからも生き生きと楽しい、

それでいて創立時の気概や理想や魂を持ち続ける元気な流体であってほしいと
思います。

大切なことを忘れずに。だけど時代の変化にも敏感に。

いつまでもいつまでも大好きな会社であり続けてください。

2018年10月4日

藤田 芳康